

病虫害発生予察情報

10 月月報

平成 12 年 11 月 9 日

東京都病虫害防除所

1 気象概況

10 月	気		温		降 水 量		日照時間	
	最 高	最 低	平 均		(mm)		(h)	
	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年比(%)
上旬	22.6	0.2	15.8	0.9	19.0	0.5	53	96
中旬	21.4	0.6	13.8	0.9	17.5	0.8	37	59
下旬	19.1	0.2	12.8	3.1	15.4	1.3	46	131
平均	21.0	0.3	14.2	1.8	17.2	0.8		
合計							136	89

1) 観測地：東京都府中市 気象庁気象観測所

2) 平年差(比)：平年値(1979-1990 年の平均値)からの差(比)

気 温：月を通じて平年よりやや高かった。

降 水 量：月を通じて平年並であった。

日照時間：上・中旬は平年並であったが、下旬はやや少なかった。

<天候概況>

上旬：前線や気圧の谷の影響により曇りや雨の日が多くなった。

中旬：前線や気圧の谷の影響により曇りや雨の日が多くなったが、移動性高気圧により天気は周期的に変化した。12 日は府中で最高気温 29.2 を記録し、一方 18 日には東京地方で「木枯らし 1 号」が吹いた。

下旬：移動性高気圧と低気圧の影響で天気は周期的に変化した。日別の気温差が大きかった。

2 作物生育概況

(1) 果 樹

ナ シ：晩生品種の収穫時期は平年並であった。果実肥大は平年並からやや良であった。

カ キ：全般的に果実の成熟が早く、品種によっては収穫始期が半月程度早くなった。

(2) 野菜類

果菜類：抑制トマトの生育は概ね順調であったが、一部ではやや徒長ぎみな生育を示した。

葉菜類・根菜類：施設のコマツナ、ハウレンソウなどの軟弱野菜は日射量が少なかった関係から、やや徒長ぎみで、露地については降雨日が多かったため、一部排水の悪い圃場では湿害と思われる生育不良がみられた。キャベツ、ハクサイ、ブロッコリー等の生育は概ね順調であったが、ハイマダラノメイガによる初期の

被害が影響し、生育の不揃いがみられた。ダイコンは生育初期の高温の影響により肥大がやや劣る傾向にあったが、生育は概ね順調であった。カブ、ニンジン等その他の根菜類は病虫害の発生も少なく生育は順調であった。

3 病虫害の発生概況

(1) 果樹の病虫害

カ キ

カメムシ類 < やや少 > 各地とも発生はやや少なかった。

(2) 野菜の病虫害

トマト (施設・抑制)

葉かび病 < 並 > 発生は平年並であった。

オンシツコナジラミ < 少 > 発生は少なかった。

マメハモグリバエ < 少 > 発生は少なかった。

トマトサビダニ < 少 > 発生は少なかった。

ナ ス

うどんこ病 < 並 > 各地とも発生は平年並であった。

ハダニ類 < 並 > 各地とも発生は平年並であった。

チャノホコリダニ < 多 > 各地とも発生は多かった。

ミナミキイロアザミウマ

< 少 > 各地とも発生は少なかった。

ミカンキイロアザミウマ

< やや少 > 各地とも発生はやや少なかった。

フキノメイガ < 並 > 各地とも発生は平年並であった。

キュウリ (施設)

うどんこ病 < 並 > 各地とも発生は平年並であった。

べと病 < やや少 > 各地とも発生はやや少なかった。

キャベツ・カリフラワー・ブロッコリー

黒腐病 < 少 > 各地とも発生は少なかった。

軟腐病 < 少 > 各地とも発生は少なかった。

黒斑細菌病 < 少 > 各地とも発生は少なかった。

ヨトウムシ類 < やや多 > 各地とも発生はやや多かった。

コナガ < やや少 > 各地とも発生はやや少なかった。

オオタバコガ < 少 > 練馬区の一部地域で発生は平年並であったが、全般的には発生は少なかった。

コマツナ

白さび病 < 少 > 各地とも発生は少なかった。

コナガ < やや少 > 各地とも発生はやや少なかった。

ハモグリバエ類 < 並 > 国立市、府中市の一部で発生はやや多かったが、全般的には平年並であった。

ハクサイ・ダイコン

モザイク病 < 少 > 各地とも発生は少なかった。

軟腐病 < 少 > 各地とも発生は少なかった。

べと病 < 少 > 各地とも発生は少なかった。

ハスモンヨトウ < 並 > 南多摩の一部地域で発生がやや多く、他地域では

		平年並であった。
ハイマダラノメイガ	< やや多 >	各地とも発生はやや多かった。
アブラナ科野菜共通		
キスジノミハムシ	< やや少 >	各地とも発生はやや少なかった。
アブラムシ類	< 並 >	各地とも発生は平年並であった。
ホウレンソウ		
べと病	< 少 >	各地とも発生は少なかった。
シロオビノメイガ	< やや多 >	各地とも発生はやや多かった。
ネギ		
さび病	< 少 >	各地とも発生は少なかった。
黒斑病	< 並 >	各地とも発生は平年並であった。
ネギアザミウマ	< やや少 >	各地とも発生はやや少なかった。
ネギハモグリバエ	< 少 >	各地とも発生は少なかった。
ヨトウムシ類	< やや多 >	各地とも発生はやや多かった。
野菜共通の病虫害		
マメハモグリバエ	< 並 >	各地とも発生は平年並であった。
ハスモンヨトウ	< やや多 >	各地とも発生はやや多かった。
オオタバコガ	< やや少 >	各地とも発生はやや少なかった。
ヤサイゾウムシ	< 少 >	南多摩の一部で発生はやや多かったが、全般的には少なかった。

(3) 花きの病虫害

キク		
黒さび病	< 少 >	各地とも発生は少なかった。
褐斑病	< 少 >	各地とも発生は少なかった。
ハダニ類	< 並 >	各地とも発生は平年並であった。
アブラムシ類	< 並 >	各地とも発生は平年並であった。
アザミウマ類	< やや多 >	各地とも発生はやや多かった。
シクラメン		
灰色かび病	< やや少 >	各地とも発生はやや少なかった。
シクラメンホコリダニ	< 並 >	南多摩の一部で発生がやや多かったが、全般的には平年並であった。
花き共通		
コナダニ・ハダニ	< 並 >	各地とも発生は平年並であった。
タバコガ類	< 少 >	各地とも発生は少なかった。

(4) 樹木の病虫害

植木類		
コガネムシ類	< 少 >	各地とも発生は少なかった。
チャドクガ	< やや少 >	各地とも発生はやや少なかった。
メイガ類	< やや多 >	ツゲノメイガの発生がやや多かった。
ハマキガ類	< やや多 >	モッコクハマキの発生がやや多かった。

(5) 島しょの病虫害

新島・八丈島		
クワゴマダラヒトリ		ここ数年に比べ、発生がやや多かった。

病害虫の発生予察情報、発生状況などをお知らせしています

テレホンサービス

042 (525) 8236

インターネットホームページ

<http://www.taes.metro.tokyo.jp/boujo>